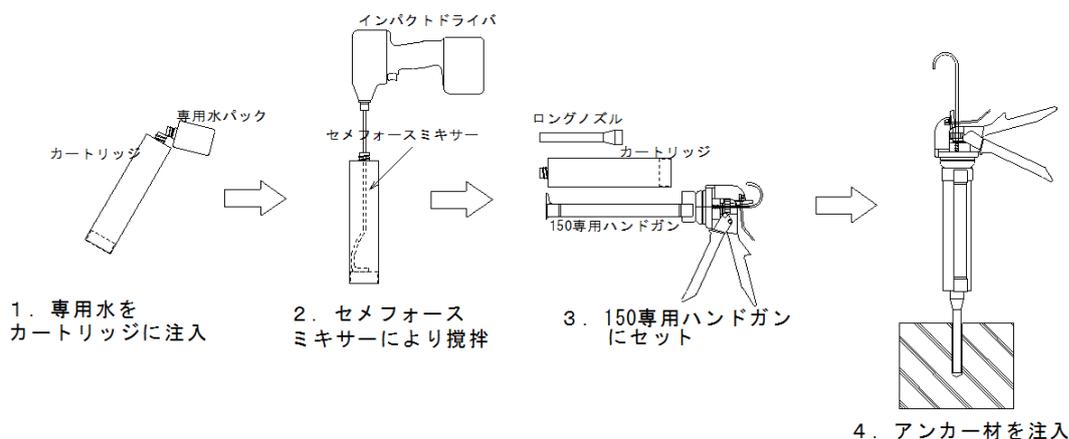


接着系アンカー（無機系・カートリッジ型）

認証取得者	住友大阪セメント株式会社	
所在地	東京都千代田区 6 番町 6 番町 28	
連絡先	TEL03-5211-4681 FAX03-3221-5183	
商品名	セメフォースアンカー-150	
接着剤の材質	特殊セメント	
工法・製品認証名	セメフォースアンカー-150	
認証番号	第19-0011号	
認証有効期間	2019年10月20日 ~ 2024年10月19日	

別添資料

【主剤と硬化剤等との混合方法】



1. ドリル径および穿孔深さと許容差

品番	ドリル径(mm)		穿孔深さ(mm)	
	径	許容差	穿孔深さ	許容差
D16-7d	20	-0.2 ~ +0.3	112	+0 ~ +11
D19-7d	24	-0.3 ~ +0.4	133	+0 ~ +13

2. アンカー筋の引張強さ、規格降伏点、伸び率

材質記号	規格番号	引張強さ N/mm ²	規格降伏点 N/mm ²		伸び率 %	
			鋼材の厚さ (mm)		棒鋼の径 (mm)	
			16 以下	16~40	25 以下	25 以上
SD295A	JIS G3112	440~600	295 以上		16 以上	18 以上
SD345	JIS G3112	490 以上	345~440		18 以上	20 以上

3. アンカー筋の適用範囲

製品仕様			試験に用いた仕様	
種類	材質	サイズ	材質	サイズ
異形棒鋼	SD295A	D16~D19	SD295A	D16
	SD345	D16~D19	SD345	D19

認証内容

構 成 部 品	項目 1	カプセルタイプの場合	材 質	—			
			形 状	—			
			寸法・許容差	—			
		上記以外の場合	主剤と硬化剤等の混合方法	別添資料による。			
			接着剤の穿孔内への充填方法	専用ハンドガンによる注入方式			
	項目 2	接着剤関連	材 質 (重量混合比率)	主材	特殊セメント	硬化材	主材：細骨材：硬化材＝ 41.5：41.6：16.9
				細骨材	珪砂	水 専用	
		付 着 強 度	$\tau_{fu} \geq 10\sqrt{\sigma_B/21}$ (N/mm ²) に対して、95%以上の信頼性を有している。 [記号] τ_{fu} ：付着強度計算値(N/mm ²)、 σ_B ：母材コンクリートの圧縮強度(N/mm ²)				
項目 3		物 性	圧縮強さ	50 N/mm ² 以上 (材齢 28 日)			
			曲げ強さ	7 N/mm ² 以上 (材齢 28 日)			
項目 4	アンカー筋関連	種 類	異形棒鋼 (JIS G3112)				
		先端形状	寸切り				
		外 観	下記を満たすものであること。 1) 油、きりかすなど異物が表面に付着していないなど、アンカー筋表面に定着性能を阻害するものがないこと。 2) ナットを嵌合する部分のねじが損傷していないこと。				
項目 5		材 質	異形棒鋼：SD295A (D16) および SD345 (D19)				
		表面処理	なし				
項目 6		強 度	降伏点・引張り強さ・伸び率 別添資料による。				
		ねじ等級	—				
製 品	項目 7	ドリル径と許容差	別添資料による。				
	項目 8	穿孔深さと許容差	別添資料による。				
	項目 9	母材の種別	普通コンクリート				
	項目 10	設計基準強度の範囲	18N/mm ² 以上、36N/mm ² 以下				
	項目 11	製品の現場保管条件	施工条件	外気温 -5℃以上、40℃以下とする。			
			環境条件 (固着後)	外気温 -5℃以上、80℃以下とする。			
			終局引張耐力算定式	破壊形式に応じて適用する式 (1) から式 (3) に対して95%以上の信頼性を有している。 $T_{cc}=0.23\sqrt{\sigma_B} \cdot A_c \cdots$ 式 (1)、 $T_{cb}=\tau_a \cdot \pi \cdot d_a \cdot l_e \cdots$ 式 (2)、 $T_{tu}=\sigma_u \cdot a_0 \cdots$ 式 (3) [記号] T_{cc} ：コーン破壊したアンカーの引張耐力計算値 (N) σ_B ：母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm ²) A_c ：コーン状破壊面の有効水平投影面積 (mm ²) (= $\pi \cdot l_e \cdot (l_e + d_a)$) T_{cb} ：付着破壊したアンカーの引張耐力計算値 (N) τ_a ：付着強度 (N/mm ²) で、次式による。 (= $10\sqrt{\sigma_B/21}$) l_e ：アンカー筋の有効埋込み深さ (mm) (= $L - d_a$) L ：アンカー筋の埋込み深さ (mm)、 d_a ：アンカー筋の外径 (mm) T_{tu} ：アンカー筋が破断したアンカーの引張耐力計算値 (N) σ_u ：アンカー筋の素材の材料強度 (N/mm ²) (= $1.1 \sigma_y$) σ_y ：アンカー筋の規格降伏点 (N/mm ²) a_0 ：アンカー筋の最小断面積 (mm ²)			
	項目 13	引張剛性	あと施工アンカーの引張剛性が、下記の条件を95%以上の信頼性を持って満足している。 min. {2/3・ T_{my} , 0.4 T_{cc} , 0.4 T_{cb} } 時における軸方向の変位量 δ が、0.3 mm以下 min. { T_{my} , 0.6 T_{cc} , 0.6 T_{cb} } 時における軸方向の変位量 δ が、1.0 mm以下 [記号] T_{my} ：アンカー筋の降伏引張耐力 (= $\sigma_y \cdot a_0$)				
	項目 14	終局せん断耐力算定式	次式に対して、95%以上の信頼性を有している。 $Q_{mc} \geq 0.4 \sqrt{E_c \cdot \sigma_B} \cdot s \cdot a_0$ ただし、 $500 \leq \sqrt{E_c \cdot \sigma_B} \leq 900$ (N/mm ²) $Q_{mu} \geq (\sigma_u / \sqrt{3}) \cdot s \cdot a_0$ [記号] Q_{mc} ：母材コンクリートの支圧破壊により定まるあと施工アンカーのせん断耐力計算値 (N) E_c ：母材コンクリートのヤング係数 (N/mm ²) σ_B ：母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm ²) $s \cdot a_0$ ：アンカー筋の最小断面積 (mm ²) Q_{mu} ：アンカー筋のせん断破壊により定まるせん断耐力計算値 (N) σ_u ：アンカー筋の素材の規格引張り強さ (N/mm ²)				
	項目 15	せん断剛性	0.6 Q_{mc} 時又は0.6 Q_{mu} 時における水平変位量が5mm以下又は0.3 d (d ：アンカー筋の呼び名) 以下であることに対して、95%以上の信頼性を持って満足している。				

[注] 項目 1～15は、評価認証審査項目を示す。